

## 資料 2. 基本構想策定に向けた検討資料

---

- 1 今年度（R7年度）の検討の全体像
- 2 アクションプランの検討について

参考 基本構想の策定に向けて

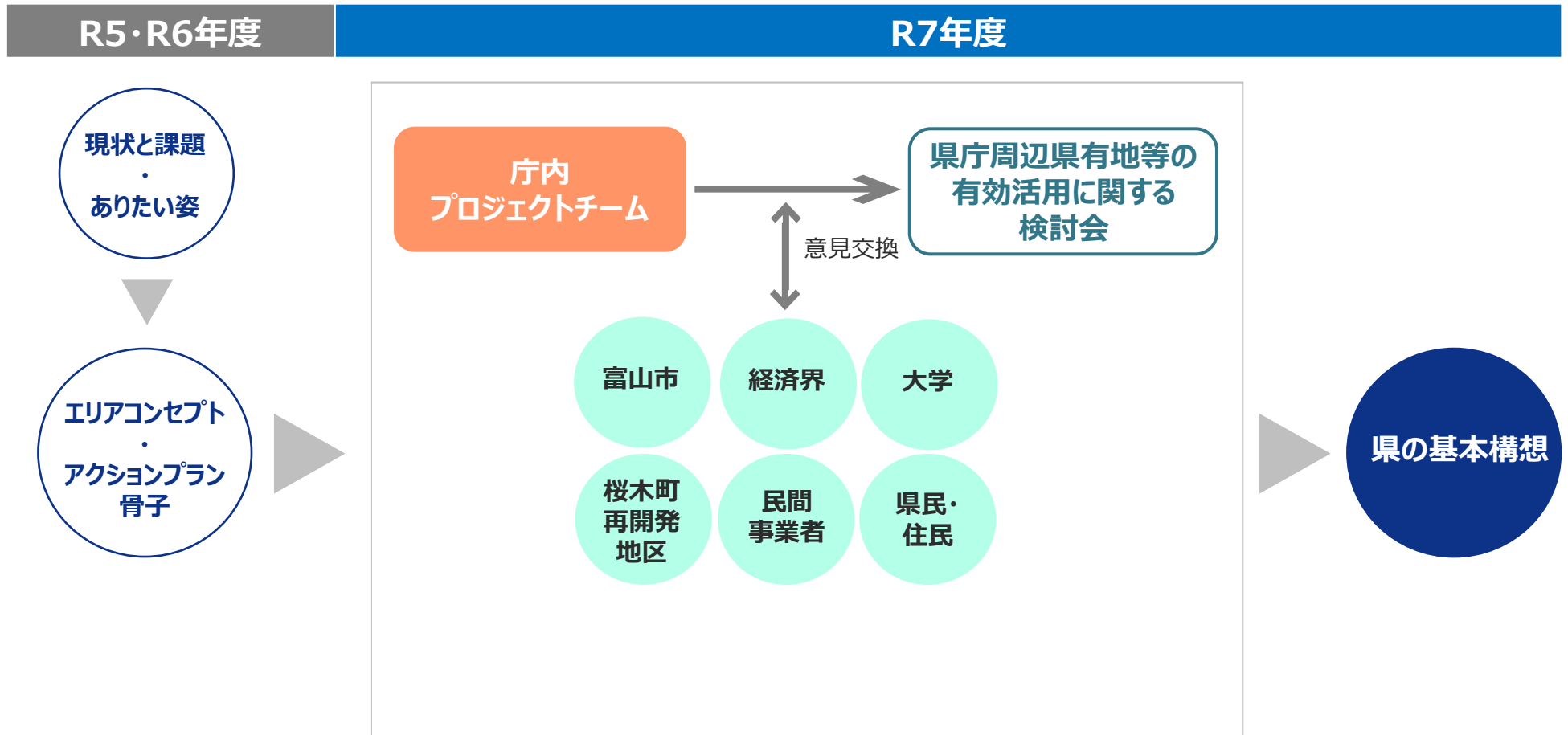
---

## 1. 今年度（R7年度）の検討の全体像

---

## 1-1. 検討の全体像

- 昨年度に引き続き、庁内プロジェクトチームでアクションプランの検討を行い、本検討会において基本構想全体の検討を図ります。
- その過程において、ステークホルダーとの協議や、学生・若者を対象とした意見交換会を開催し、意見聴取に努めます。



## 1-2. 本検討会の概要

- 県庁周辺県有地等の有効活用に向けて、本検討会においてご意見をいただき、R7年度中の基本構想策定を目指します。

| No. | 日程     | アジェンダ                                                                                                                                |
|-----|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 6/2(月) | <ul style="list-style-type: none"><li>これまでの検討の経緯</li><li>基本構想策定の概要</li><li>アクションプランの検討について</li><li>意見交換</li></ul>                    |
| 第2回 | 10月頃予定 | <ul style="list-style-type: none"><li>基本構想の骨子について</li><li>アクションプランの検討状況</li><li>意見交換</li></ul>                                       |
|     | 12月頃予定 | <ul style="list-style-type: none"><li>パブリックコメントの実施</li></ul>                                                                         |
| 第3回 | 2月頃予定  | <ul style="list-style-type: none"><li>パブリックコメントを反映した基本構想最終案について</li><li>アクションプラン・ロードマップについて</li><li>今後のスケジュール</li><li>意見交換</li></ul> |

- 県庁PTは3～4回開催
- 若者意見交換会は2～3回開催
- ステークホルダーとの協議は随時実施

## 1-3. 先進事例研究①

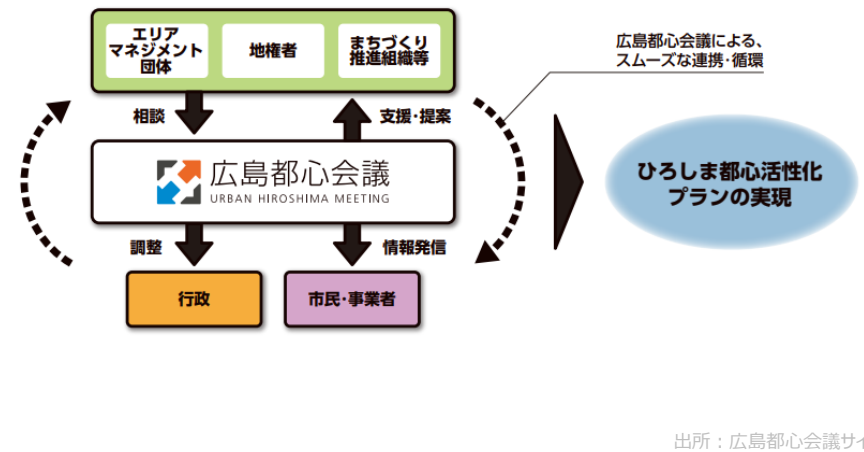
- 先進事例では、上位概念となるまちづくりのビジョンに基づき、都市開発（ハード面）と多様な主体の連携によるマネジメント（ソフト面）を実施しており、本検討に向けて参考となる情報として整理しました。

### 福井県の事例



- 福井商工会議所・福井県・福井市の連携のもと、令和4年10月に福井駅周辺エリアの将来を構想する「県都グランドデザイン」が策定された。
- 民間が主体となって継続的にまちづくりに参画する「エリアマネジメント」の視点を取り入れた構想づくりや実施体制の整備をするために、「県都グランドデザイン」の策定は経済界と行政が一体となって進められた。
- 「県都グランドデザイン」の推進には、商工会議所や中小事業者、福井市等が出資をしている「まちづくり福井(株)」が中心的な役割を担っている。

### 広島県の事例



- 広島都心部エリアにおいては、複数の大規模な都市開発事業の計画があったことから、広島経済同友会の提言をきっかけとして、複数のエリアマネジメント団体と行政の中間に位置するプラットフォームとして「広島都心会議」が設立された。
- 広島経済同友会のまちづくり委員会に参画していた企業を中心に正会員53社、賛助会員24社で構成（令和6年11月時点）。
- 県や市もオブザーバーとして参加しており、エリアマネジメント団体への支援や運営費用に対する支援等を実施している。

## 1-4. 先進事例研究②

- 先進事例では、上位概念となるまちづくりのビジョンに基づき、都市開発（ハード面）と多様な主体の連携によるマネジメント（ソフト面）を実施しており、本検討に向けて参考となる情報として整理しました。

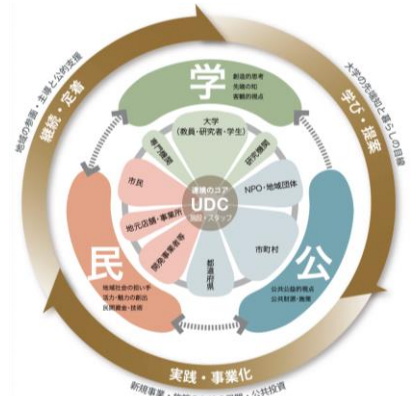
### グラングリーン大阪の事例



出所：グラングリーン大阪サイト

- 再開発が進む大阪駅北側に位置する、うめきた2期区域において「みどり」と「イノベーション」をキーワードとしたまちづくりが進められ、「グラングリーン大阪」が令和6年10月に先行まちびらきました。
- うめきた公園の他、オフィス、ホテル、中核機能施設、商業施設、都市公園、住宅を有する**複合開発事業**であり、イノベーション支援施設、文化体験施設、MICE施設等がエリア内に配置されている。
- 「一般社団法人うめきたMMO」が公園指定管理者として指定されており、**パークマネジメントとエリアマネジメントを一体的に実施**している。

### 柏の葉キャンパスの事例



出所：UDCKサイト

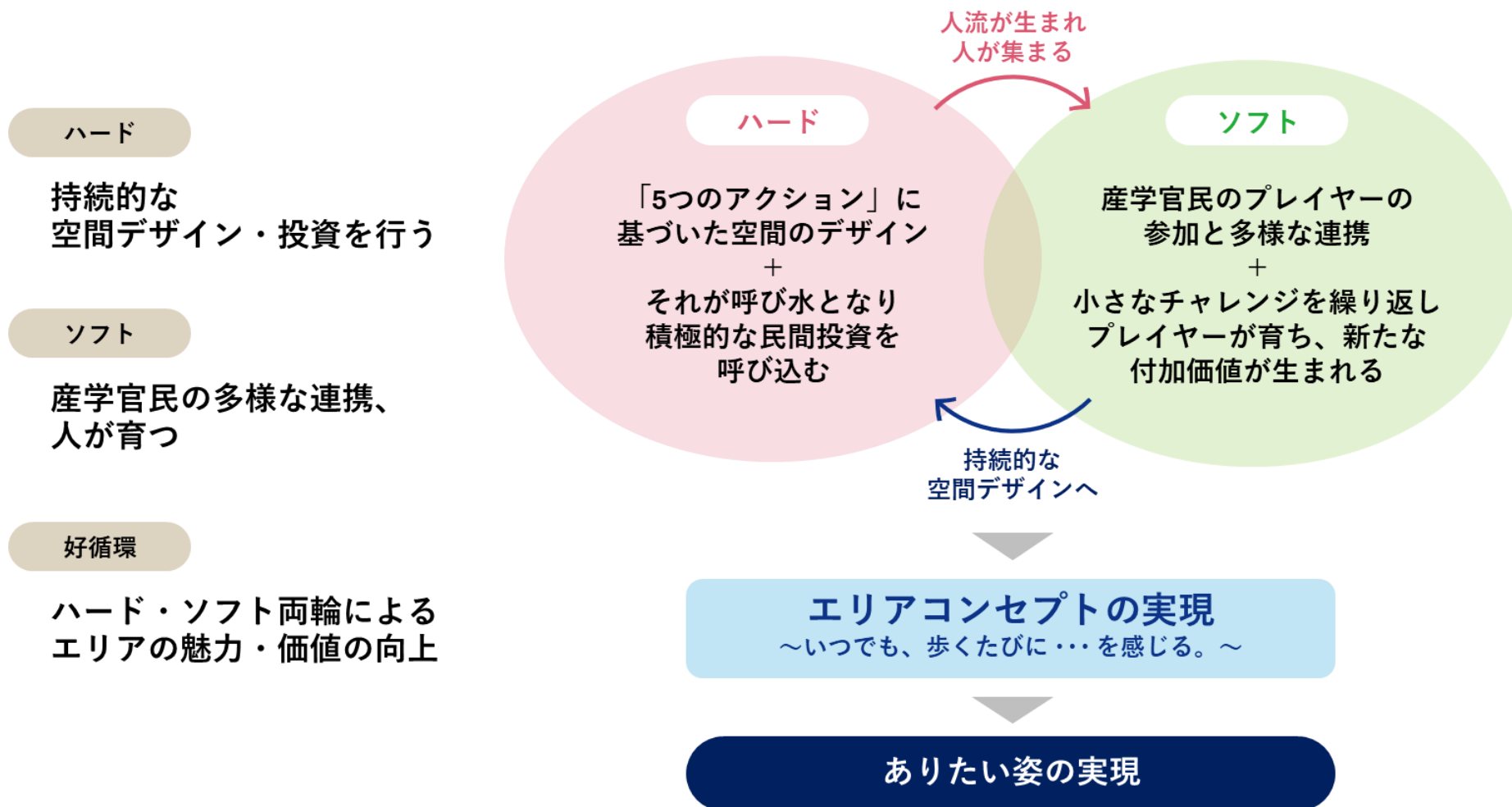
- つくばエクスプレスの沿線開発として大規模開発が進められた柏の葉エリアでは、柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）が、**公（市や県）・民（市民や企業）・学（大学や研究機関）の連携により、未来志向のまちづくり**を進めている。
- UDCKの構成団体は、柏の葉の**まちづくりに直接的に係る8つの構成団体**による共同運営を基本としている。
- 地域関係者が連携・協働のもと、柏の葉の都市づくりを実践するための共通の拠り所として「**柏の葉国際キャンパスタウン構想**」が策定されており、UDCKは**構想実現のためのプロジェクトの進行や支援**を行っている。

## 2. アクションプランの検討について

---

## 2-1. 実行に向けた仕組み※昨年度整理

- エリアコンセプトブックにおいて、実行に向けた仕組みとして、ハード・ソフト両輪での持続的な取り組みにより好循環を生み出す考え方を示しました。
- ハード・ソフトそれぞれの観点におけるアクションプランの整理を行います。





## 2-2. アクションプラン骨子※昨年度整理

- ・ エリアコンセプトブックにおいて、空間・アセットに対する施策として、「5つのアクション」を設定しました。
- ・ R7年度はアクションを実行するための具体化を図り、アクションプランとして取りまとめます。

### 5つのアクション

01 ウォーカブルで一体的な歩行者空間を生み出す

02 まちなかにおける緑のオープンスペースを創出する

03 松川べりを憩いの水辺空間として魅力を向上させる

04 歴史ある県庁舎本館をまちに開かれた賑わい拠点として複合的に活用する

05 富山駅～商店街地区との連続性・回遊性を高める



#緑とオープンスペース

#ウェルビーイング



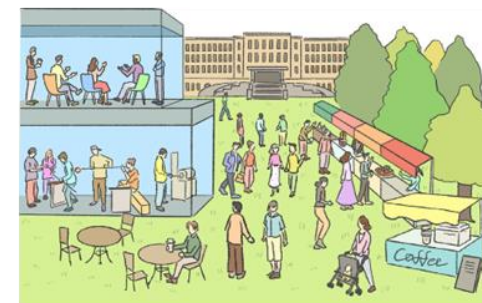
#松川

#ウォーカブル



#県庁舎本館

#賑わいと交流



#共創

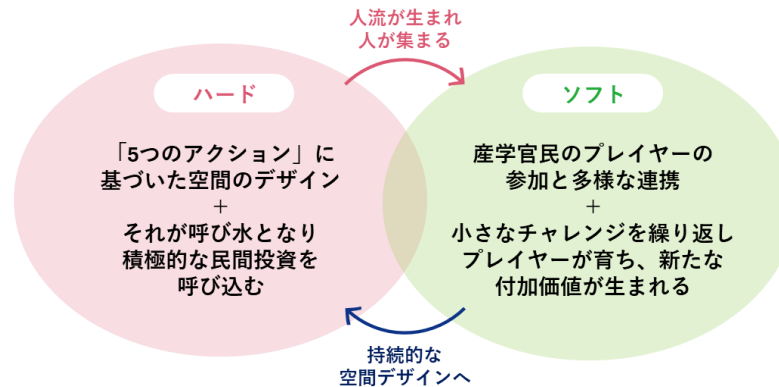
#エリアマネジメント

## 2-3. アクションプランの構成

- 基本構想におけるアクションプランの構成として、以下のとおり①～⑤の5つのアクションを検討の大項目として設定します。
- また、ソフト側の施策として、エリアマネジメントの実践を位置付けます。
- その他検討すべき事項として、庁舎のあり方やアクション全体に係る検討事項を抽出しています。

### ◆ 5つのアクション（空間・アセットに対する施策）

- 01 ウォーカブルで一体的な歩行者空間を生み出す
- 02 まちなかにおける緑のオープンスペースを創出する
- 03 松川べりを憩いの水辺空間として魅力を向上させる
- 04 歴史ある県庁舎本館をまちに開かれた賑わい拠点として複合的に活用する
- 05 富山駅～商店街地区との連続性・回遊性を高める



### ◆ エリアマネジメントの実践

- エリアマネジメントの試行・体制の構築
- プレイヤーの発掘・育成
- 民間投資の呼び込み

特に、今回ご議論いただきたい論点



## 2-4. アクションプランのイメージ

- 5つのアクションの検討内容について、地図上でイメージを示しました。



県庁周辺に県が有する主なアセット

出所：Google Earth

## 2-5. アクションプランの検討内容①

- 5つのアクションについて、R6の検討をもとに、具体的な施策の案を示しました。
- ①については以下のとおりです。

| 【アクション】                 | 【具体的な施策の案】                | 検討の主な論点                                                                                    |
|-------------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①ウォークアブルで一体的な歩行者空間を生み出す | 1. グランドデザインを定める           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・街区を一体化する範囲の検討</li> <li>・県以外のアセット管理者との連携</li> </ul> |
|                         | 2. 歩行者空間の充実化を図る           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者空間の充実に向けた施策の整理</li> </ul>                       |
|                         | 3. 車の動線や駐車場のあり方に関する方針を定める | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の車の動線や駐車台数の整理</li> <li>・駐車場のあり方の検討</li> </ul>    |
|                         | 4. 本館周辺の既存の県有施設の利活用方針を定める | <ul style="list-style-type: none"> <li>・（県庁舎のあり方検討との連携）</li> </ul>                         |

事例：グラングリーン大阪



出所：施設サイト

事例：広島県庁舎敷地有効活用事業



出所：施設サイト



## 2-5. アクションプランの検討内容②

- ②については以下のとおりです。

| 【アクション】                  | 【具体的な施策の案】                 | 検討の主な論点                                                                                                                   |
|--------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ②まちなかにおける緑のオープンスペースを創出する | 1. 緑のランドデザインを定める           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドスケープデザインの設定</li> <li>・エリア全体の緑の配置</li> <li>・城址公園や松川公園との連携</li> </ul>            |
|                          | 2. 既存の公園施設・設備・植栽の利活用方針を定める | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁前公園、NHK跡地の利活用の検討</li> <li>・県庁舎敷地や県庁前公園の植栽等の利活用の検討</li> </ul>                    |
|                          | 3. 新たな公園の機能を導入する           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時、冬場、夜間の滞在性向上機能の検討</li> <li>・こどもの遊び場機能の検討</li> <li>・パークマネジメント手法の導入検討</li> </ul> |

事例：福岡市・明治公園の立体回廊



出所：福岡市

事例：豊島区・イケ・サンパークの公園を起点にしたまちづくり



出所：施設サイト

事例：福井市中央公園の屋根付き遊具広場「しろっぱ」



出所：福井市

## 2-5. アクションプランの検討内容③

- ③については以下のとおりです。

| 【アクション】                  | 【具体的な施策の案】                    | 検討の主な論点                                                                                                            |
|--------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ③松川べりを憩いの水辺空間として魅力を向上させる | 1. 松川べりの空間活用方針を定める            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺のステークホルダーとの連携</li> <li>・県有アセットの空間活用方針の検討</li> </ul>                      |
|                          | 2. 松川べりの魅力を向上させる機能や活動を創出・誘致する | <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在性を高める機能の検討、導入</li> <li>・観光機能の強化</li> <li>・賑わいを創出するイベント等の活動の誘致</li> </ul> |

松川べりの桜並木



出所：とやま観光ナビ

事例：米・サンアントニオ市のリバーウォーク



出所：月刊グッドラックとやま

## 2-5. アクションプランの検討内容④

- ④については以下のとおりです。

### ※特に今回ご議論いただきたい論点

| 【アクション】                                                                 | 【具体的な施策の案】              | 検討の主な論点                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>④歴史ある<br/>県庁舎本館<br/>をまちに開か<br/>れた賑わい<br/>拠点として複<br/>合的に活用<br/>する</b> | 1. 庁舎機能や複合的な活用の方針を定める   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録有形文化財としての活用</li> <li>・複合的な活用範囲の検討</li> <li>・モデルオフィス事業の検証</li> </ul> |
|                                                                         | 2. 複合的な活用に向けて新たな機能を導入する | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流・文化・情報発信機能等の賑わい機能の導入の検討</li> <li>・官民連携手法の導入の検討</li> </ul>           |

事例：旧奈良監獄のコンセッション事業



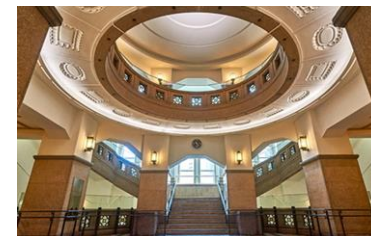
出所：法務省

事例：横浜市旧市庁舎街区活用事業



出所：横浜市

事例：旧公衆衛生院を複合活用した港区立郷土歴史館



出所：施設サイト

## 2-5. アクションプランの検討内容⑤

- ⑤については以下のとおりです。

| 【アクション】                                 | 【具体的な施策の案】                                    | 検討の主な論点                                                                                                                |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑤富山駅～<br>商店街地区<br>との連続性・<br>回遊性を高<br>める | 1. 周辺エリアとシームレスに連<br>携する動線を定める                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北、東西の歩行者動線のデザイン</li> <li>・モビリティサービスの導入の検討</li> <li>・ストリートファニチャーの検討</li> </ul> |
|                                         | 2. 回遊性を高める機能や活動<br>を創出・誘致して周辺エリア<br>との連携を強化する | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺エリアとの連携を図りつつ、回遊性を高<br/>める機能や活動を検討</li> <li>・エリアマネジメントの実践</li> </ul>          |

事例：姫路市大手前通りほこみち制度



出所：大手前通りサイト

事例：松山市花園町通りの街路整備



出所：松山市



## 2-6. エリアマネジメントの実践に向けて

- ソフト側の施策として、エリアマネジメントの実践に向けた検討を行います。
- まちづくりプレイヤーの発掘・育成および民間投資の呼び込みを進め、すべての主体が実行者となるよう伴走支援を行います。

### ◆ エリアマネジメントの実践

|                           |                                                                                                                                      |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. エリアマネジメントの<br>試行・体制の構築 | <ul style="list-style-type: none"><li>• 産学官民の各主体と連携し、将来的なエリアマネジメントの実施に向けた仕組み・体制・役割の検討</li><li>• 県全域に付加価値を波及させるために持つべき機能の検討</li></ul> |
| 2. プレイヤーの発掘・育成            | <ul style="list-style-type: none"><li>• エリアの持続的な発展に向けて、暫定活用等を通してまちづくりを推進するプレイヤーを発掘・育成</li><li>• コミュニティの醸成を図る</li></ul>               |
| 3. 民間投資の呼び込み              | <ul style="list-style-type: none"><li>• エリアコンセプトブックを活用し、民間事業者との対話を重ねてエリアへの関心を高め、民間投資を呼び込む</li><li>• 民間資金の循環による持続的なエリア経営の実現</li></ul> |

事例：グラングリーン大阪



出所：施設サイト

事例：柏の葉アーバンデザインセンター



出所：施設サイト

**参考．基本構想の策定に向けて**

---

## (参考) 基本構想の章構成の想定

- 今年度策定予定の基本構想について、現段階の章構成と記載内容のイメージを整理しました。

| 章構成                                | 記載内容イメージ       |
|------------------------------------|----------------|
| <b>I.<br/>背景</b>                   | 検討の背景          |
|                                    | 検討の対象          |
|                                    | 県がまちづくりに取り組む意義 |
|                                    | 検討の経緯          |
|                                    | 基本構想策定の流れ      |
|                                    | 先進事例研究         |
| <b>II.<br/>上位計画の整理</b>             | 県の上位計画の整理      |
|                                    | 富山市の都市計画に関する整理 |
| <b>III.<br/>県庁周辺エリア<br/>の現状と課題</b> | 検討体制           |
|                                    | 県庁周辺エリアの歴史     |
|                                    | 現状と課題          |
|                                    | 目指すべき方向性       |
| <b>IV.<br/>ありたい姿</b>               | ありたい姿の抽出       |
|                                    | ありたい姿の説明       |

| 章構成                         | 記載内容イメージ          |
|-----------------------------|-------------------|
| <b>V.<br/>意見収集の取<br/>組み</b> | 取り組みの概要           |
|                             | アイデアコンペの開催        |
|                             | 意見交換会の開催          |
|                             | ヒアリングの実施          |
|                             | 暫定活用の実施           |
|                             | 取り組みから得られた示唆      |
| <b>VI.<br/>エリアコンセプト</b>     | エリアコンセプトの設定       |
|                             | エリアコンセプトの説明、イラスト  |
| <b>VII.<br/>アクションプラン</b>    | 検討体制              |
|                             | アクションプラン骨子の抽出     |
|                             | アクションプランの全体像      |
|                             | 5つのアクション          |
|                             | その他検討事項           |
|                             | 実行に向けた仕組み、推進体制    |
| <b>VIII.<br/>今後に向けて</b>     | 今後の検討課題・スケジュールの整理 |